

2021年6月15日

各位

上場会社名	東邦亜鉛株式会社	
代表者	代表取締役社長	丸崎公康
(コード番号	5707)	
問合せ先責任者	執行役員資源事業部長	中川英樹
(TEL	03-6212-1704)	

(開示事項の経過) 豪州西オーストラリア州 Abra 鉛鋳山開発に関わる最終投資意思決定

去る2019年4月12日付にて、当社は、100%子会社の豪州鋳山会社 CBH Resources Limited (以下CBH社)を通じ、豪州西オーストラリア州のAbra鉛鋳山開発事業への参画に付き、同権益を100%保有する豪州Galena Mining Limited (以下Galena社)と正式契約を締結し、開発事業体である豪州Abra Mining Pty Limited (以下AMPL社)の第三者割当増資90百万豪ドルを引受ける事により、AMPL社株式の40%を保有する計画である事、又、2019年8月2日付にて、当社は、第三者割当増資30百万豪ドルの引受けを実行した事をお知らせ致しました。

更に、その後、2020年11月12日付にて、本案件の開発に必要な融資資金として、豪州Taurus Funds Management社の在米ファンドであるTaurus Mining Finance Fund No. 2を貸主、AMPL社を借主とする総額110百万米ドルの融資契約を締結した事をお知らせ致しました。

今般、AMPL社が行なった追加補間試錐プログラムにより、Abra鉛鋳山の資源量の確度が引き上げられ、それに基づき操業計画を見直した結果、融資実行の前提条件であるAMPL社の事業計画に於ける財務指標基準の達成が確認された事より、当社とGalena社は、AMPL社によるAbra鉛鋳山開発に関わる最終投資意思決定を行ないましたので、お知らせ致します。

今後、当社は、2021年6月末迄に、CBH社を通じ、第三者割当増資60百万豪ドル全額の引受けを完了させ、AMPL社株式の40%を保有する予定です。又、この段階で、Abra鉛鋳山の開発に必要な全ての資金調達完了し、AMPL社は建設開発工事を本格化させ、2022年末迄に最初の粗鋳採掘を開始する事を目指す事と致します。

以上